

令和2年度

つやま元気大賞表彰式を開催しました!

津山市の学校や地域を元気にする活動や社会や誰かのために進んで貢献する活動などを広く讃える令和2年度「つやま元気大賞」表彰式が行われました。

個人の部では4名の推薦、団体の部では11団体の推薦があり、10月7日に選考委員会を開催し、「大賞」「優秀賞」が決定しました。

令和2年11月2日(月) おかやま教育の日 於:市役所東庁舎



大賞〈個人の部〉 南小学校6年 白石 智也

6歳から将棋を始め、小学生将棋名人戦岡山県代表として7月に東京で開かれた全国大会で準優勝と素晴らしい成績を収め、9月上旬、日本将棋連盟のプロ棋士養成機関「奨励会」に合格し、プロを目指し、夢に向かって日々努力していることが高く評価されました。

大賞〈団体の部〉 清泉小学校児童

新型コロナ感染防止のため、様々な制約がある学習環境のなか、児童全員が心を一つにしてがんばろうという願いや、医療関係者への感謝の気持ちを伝えたいという思いのもと作詞や作曲に携わり、清泉小学校オリジナル応援歌『みんな元気で 笑顔に!』を完成させ、運動会で保護者や地域の方に披露し、地域を元気づけたことが高く評価されました。

11月4日より、昼休憩中に市役所でオリジナル応援歌が放送されます。

優秀賞〈個人の部〉

田淵 舞 (津山市立高野小学校 5年生)
栗村 源太郎 (津山市立広戸小学校 6年生)
津田 幸保 (津山市立院庄小学校PTA会長)



優秀賞〈団体の部〉

津山市立秀実小学校児童
津山市立東小学校 塩川 柊太 他7名
津山市立成名小学校児童
津山市立中道中学校剣道部
西小のびのび児童クラブ



津山市立久米中学校美化委員会
津山市立津山東中学校3年生
喬松っ子と地域を元気にする会
津山市立一宮小学校児童・職員
津山市立鶴山小学校児童

おめでとうございます!

(問い合わせ) 津山市教育委員会 学校教育課 〒708-8501 津山市山北520

TEL. 0868-32-2114 FAX 0868-32-2157 E-mail gakkyou@city.tsuyama.lg.jp



令和2年度 つやま元気大賞優秀賞活動紹介①



優秀賞〈個人の部〉

田淵 舞 (津山市立高野小学校 5年生)

田淵舞さんが踏切付近を下校中に、踏切に躓いて転倒し、意識を失いかけた男性に「大丈夫ですか？」と何度も声をかけた。その結果、男性は意識を取り戻し、自力で踏切外に出ることができた。翌日、この男性から学校に「御礼を言いたいので、子どもたちに聞いてほしい。」と連絡があり、全校児童に尋ねたところ田淵さんであることが分かった。

栗村 源太郎 (津山市立広戸小学校 6年生)

広戸風を伴う雨のなかを登校中、栗村源太郎くんは命の危険を感じて、下級生に大きな声で「ごみステーションの陰で雨宿りをしよう。」と声をかけた。しばらく、学校に向かうか家に帰るか迷っていたが、通りかかった地域の方が、自分の家の駐車場で雨宿りをするように言ってくださった。不安になった下級生を励ましながら迎えを待ち、迎えが来た時も地域の方にきちんとお礼を言って、学校に向かった。下級生から「源太郎君がいてくれて心強かった。」ととても頼りにされている。

津田 幸保 (津山市立院庄小学校PTA会長)

津田さんは、本校PTA会長として、学校と保護者との協力体制づくりに日々努力し、児童への教育効果の向上や教育環境整備に向けて尽力してくださっている。また、美作大学准教授としてリズムジャンプを取り入れた授業実践に取り組み、多くの学校で児童生徒が楽しく体を動かし、運動能力を向上させる卓越した指導力を発揮されている。そして、今年4月からの新型コロナウイルス感染症に伴う長期の臨時休業中には、家庭で過ごしている児童生徒に向けた動画サイト「津山っ子おうちで体育チャレンジ」を作成された。外出制限の生活の中で、児童生徒の心の安定や体力の向上、健康維持につながる活動を継続し活躍されており、つやま元気大賞に推薦する。

優秀賞〈団体の部〉

津山市立秀実小学校児童

樹木医の原田照太先生を講師に迎え年2回(春・秋)「樹木学習」を行っている。平成12年から行っている樹木学習は、今年度19回目を迎え、この取組の成果が表われ、毎年見事な桜の花が咲き誇っている。また、身近な自然環境に興味関心を持てる児童が多い。

津山市立東小学校 塩川柊太 他7名

塩川柊太さんは、学校の臨時休業が始まった翌日の4月21日から、生活リズムの維持を目的に、母親とともに通学時間と同じ時刻に家を出発し、通学路のゴミ拾いをしながら学校まで来る活動を始めた。この活動は、臨時休業が終わる5月19日まで1日も休まず続けられた。また、同級生や近所の児童も活動に誘い、活動に加わった。毎日やり抜いた本人だけでなく、それを支え友達にも広げた家庭の教育力も賞賛されるべきだと思う。

津山市立成名小学校児童

成名小学校の児童98人は、毎朝、通学班で一言もしゃべらずに並び、横断歩道で停まってくださった車に、「停まってくださってありがとう」という感謝の気持ちで全員で頭を下げている。もう何年も続いており、伝統になっている。この姿に感動し、電話をかけてくる方もおられる。当たり前が続けてきていることが、見ず知らずの方まで元気にしている。

津山市立中道中学校剣道部

中道中学校剣道部は、令和元年度岡山県中学校秋季剣道大会にて、男子団体準優勝、個人優勝(主将 眞野義久)を飾り、今年度は中国大会、全国大会出場・優勝を目指し厳しい練習に取り組んでいた。しかし、コロナ禍により、県・中国・全国大会が中止となり、生徒たちのショックは計り知れないものがあったが、顧問の指導の下、くじけず最後まで真剣に練習に取り組んだ。また、学校に貢献できることは何かを考え、校内清掃等のボランティア活動にも取り組んでおり、その姿勢は他の生徒の模範となっている。



令和2年度 つやま元気大賞優秀賞活動紹介②

優秀賞〈団体の部〉

西小のびのび児童クラブ

西小学校の近くには徳守神社（宮脇町）があり、多くの児童は毎年夏の納涼祭や秋のお祭りを楽しみにしている。西小のびのび児童クラブの子どもたちは、自分たちでできることをして役に立ちたいとの思いから、毎月（第1土曜日午前中）徳守神社に行き、掃き掃除や草取りなどの清掃活動を行っている。この夏も、3密を避け、熱中症対策をしながら元気に活動を続けている。

津山市立久米中学校美化委員会

久米中学校では、平成24年度から自問清掃に取り組んでいる。自問清掃とは、日々の15分間清掃をきれいにするだけでなく、無言で活動するなかで考えたことをノートに記録し、人としての成長を促す取組である。生徒は、この活動を「心磨き」と呼び、「おしゃべりや面倒なことを我慢ができたか」、「仲間を助け、親切にできたか」、「掃除すべき場所や友だちや自分の成長を見つけることができたか」という3つの視点で自問し、自己評価している。現在では、学校の良き伝統として継承され、生徒自身が誇りを感じる活動となっており、その中心的役割を果たしている美化委員会を、ここに推薦するものである。

津山市立津山東中学校3年生

コロナ禍で日本中が大変な中、津山東中学校では美術の授業として「津山をArt（アート）で応援しよう」という架空のプロジェクトを立ち上げた。中学3年生が地元の津山についてしっかりと考え、アートのかでどんなことができるか考えている。現在、作品や商品サンプルをつくり、具体的な企画を練っており、大人が思いつかないアイデアが多く、津山を元気にしたいという態度がつやま元気大賞に値すると考え、ここに推薦するものである。

喬松っ子と地域を元気にする会

令和元年12月、地域の空き地に子どもたちと大きな手作りクリスマスツリーを立て、地域にあたたかい光を灯した。今年度も、3年生がクリスマスツリー用のランプ作りを手伝い、地域に貢献した。また、毎年8月には、親子で川に入り、生物観察を楽しむと同時に、生物の生息具合や川の汚染の有無を調べ、環境保全に努めており、児童の自己肯定感や郷土愛の醸成につながっており、ここに推薦するものである。

津山市立一宮小学校児童・職員

毎年10月に一宮地区で行われる「鶴の羽フェスティバル」に一宮小学校も準備段階から参加しており、当日は写真にあるように教職員はバンドを組みドラゴンボールのキャラクターに変装し、歌を披露し、絶賛を浴びた。地域を元気にしたい取組であり、つやま元気大賞に値すると考え、ここに推薦するものである。

津山市立鶴山小学校児童

日頃から、児童の見守り活動や教育活動への支援を行っている地域への「恩返し」の活動として、鶴山小学校児童会が地域貢献活動「KAKUZANグリーン隊」と命名した通学路の清掃活動を行っている。毎月、月初めの平日に、それぞれの通学班が通学路のゴミを拾いながら登校し、登校した通学班から順番に、拾ったゴミの分別を行っている。初回は、先生方が付き添いながら下校時に活動していたが、雨上がりにもかかわらず、下校する子どもたちがゴミ袋を手にしなから、通学路の水に濡れて拾いにくいゴミを拾い袋に入れている姿に、思わず感動の涙があふれた。これからも、鶴山小学校のオリジナル善行行事として定着し、地域貢献の輪が広がるように、つやま元気大賞に推薦するものである。

（問い合わせ）津山市教育委員会 学校教育課 〒708-8501 津山市山北520

TEL. 0868-32-2114 FAX 0868-32-2157 E-mail gakkyou@city.tsuyama.lg.jp